放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 10月31日

事業所名　放課後等デイサービスサーバントホース

		チェック項目	実数			割合
			はい	いいえ	合計	はい　いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	6	100% 0%
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	6	100% 0%
	3	生活空間は、こどもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6	0	6	100% 0%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	6	100% 0%
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	6	100% 0%
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	6	100% 0%
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	6	100% 0%
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	6	100% 0%
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	6	100% 0%
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	6	0	6	100% 0%
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0	6	100% 0%
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	6	0	6	100% 0%
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こど	6	0	6	100% 0%
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	6	100% 0%
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	6	100% 0%
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	6	100% 0%
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	6	100% 0%
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6	100% 0%
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	6	100% 0%

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	6	100% 0%
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	6	100% 0%
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	6	100% 0%
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	6	100% 0%
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	6	100% 0%
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	6	100% 0%
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	6	100% 0%
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	6	100% 0%
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	6	100% 0%
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6	100% 0%
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	6	100% 0%
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	6	100% 0%
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	6	100% 0%
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	6	100% 0%
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	6	100% 0%
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	6	100% 0%
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	6	100% 0%
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	6	100% 0%
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	6	100% 0%
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	6	100% 0%
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	6	100% 0%
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	6	100% 0%
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	6	100% 0%
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	6	100% 0%
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	6	100% 0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 10月31日

事業所名　放課後等デイサービス　サーバントホース

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	屋外と屋内の活動スペースを状況に併せて適宜有効に活用しています。	安心・安全に配慮すること、スペースを活動や子ども達の状況に合わせ有効に使用し支援に活かします。折角の外なので。職員の目が届くよう、各職員の配置に気を付けます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	適切に配置を行っております。	馬の活動を行うにあたり人員の確保と適切な配置、安心安全を第一に活動を行っていくことを常に強く意識しています。都度改善点は共有し修正します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	子ども達が到着から活動、余暇時間を気持ちよく過ごせる構造です。スロープの設置等安心安全に配慮しております。	既にスロープの設置もあるが身体機能維持、向上のため、スロープや階段など使い分けを関わりのなかで個々にアプローチしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	生活空間は十分に確保されております。外遊びが出来、動物もいるため、手洗い、うがいなど徹底して行っております。	衛生・感染症対策マニュアル、安全管理対策マニュアルを事業所の運営に繁栄させるため、委員会や事業所内での研修を行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	個別で過ごせるスペースがあります。	音に敏感、振動に敏感、気持ちが落ち着かない、クールダウンしたいときなど適時利用します。その後の過ごし方が良い時間となるためのスペース、手段として捉えています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	支援前後のミーティングを行っております。	活動の実施、振り返り、改善点、更に伸ばしていく点などを皆で話し合い、あげられるポイントを次回の活動に反映させてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	全員が閲覧し、ご指摘、改善点を共有し取り組みます。	ご意見いただいた問題点や課題の改善、実施が一方に偏ることのないよう注意致します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	支援前後のミーティングを行っております。	業務改善が、事業所の業務と子ども達との関わり、活動との関係をよく捉え、分けるべきところと繋げて考えるべきところを十分に注意致します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	ホームページで公表しております。	評価結果を全職員が閲覧し、更なるサービスの向上へつなげます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	研修の情報を公表し、個々の希望する研修に参加しています。	各機関が開催する研修、会社主催の研修に積極的に参加し職員個々の、職場全体の質の向上を目指しております。得たものが実際の現場で発揮できるよう共有します。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	ホームページで公表しております。	ホームページにて閲覧していただけます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	アセスメントツールの活用、保護者様・相談員様から、情報を収集して作成致します。学校の先生ともよく話し、情報の交換・共有にも力を入れております。	児童発達支援管理責任者を中心に各職員が積極的に意見を交わし、共有された支援が継続的に行われるよう計画の作成に努めてまいります。。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われてい	子どもたちのニーズを主に、職員全員での作成を行っております。	児童発達支援管理責任者が作る計画ではなく、各職員の様々な意見で構築された支援計画の作成が個々のアプローチに有効となるよう作成致します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	子ども達への関わり、支援を共通理解のもと行っております。	計画は個々のアプローチに沿ったものでありますが、計画に沿った支援は最終目標の目的に繋がる過程として、目的目標を見失わないよう心掛けております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	標準化されたツール、5領域でのアセスメント、日々の話し合いや情報共有、共通理解を致します。	子ども達のニーズ、アプローチ、改善点、良かったことをしっかり把握し評価、再評価、次回計画にしっかりと反映致します。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的	子ども達のニーズを主に、支援が安定的に継続的に行えるよう、家族、学校などの環境にも配慮してまいります。	地域支援、地域連携、移行支援を即時有効に行えるよう日々関係機関との連携を密にしてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	職員間で話し合い、意見を出し合っての立案となります。	活動が目的ではなく、活動のなかで子ども達ここへのアプローチのポイントの共有が大切です。共通理解に務めてまいります。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	習慣化、イメージして自発的に行動していけるための馴染みのある活動は必要と考えます。マンネリで単調、季節や環境を無視した固定化ならないプログラム作成を致しま	子ども達の支援やアプローチのための活動であるべきと考えております。活動ありきでは意味のない固定化となりかねないため、そのようなプログラム作成とならないようチームでチェックや話し合いを行っております。。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	集団活動でも、皆一辺倒で行うものではなく段階や役割を設定して計画、作成を致します。	個々のアプローチによって役割や段階を集団活動のなかにも設定します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	職員の役割、活動の手段としての使い方、個々のアプローチへの分類、落とし込みを共有致します。	職員の、居るスペース、注意する方向、目線の方向の偏りに注意し全体を
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	活動に対しての振り返りと子ども達の振り返りを行っております。	子ども達の状態、環境の状況によって表現も変わります。今日そうだったからと決めつけの無いよう、何故そうだったのか、次回はどうかと継続的な視点での話し合いを行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	日々の支援内容は必ず記録しております。	どうであったのか、支援、関わりをしたらどう変化したのかが記録されるよう行っております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	定期的なモニタリングを行っております。	子どもの意向を主に、ご家族様のご意向も踏まえて計画に繋げてまいります。子どもの意向が主であることから外れないよう注意しております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	ガイドラインに沿っての活動の確認をしております。	職員が理解して支援できるように更なる周知・理解に努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	役割分担、何の役割をするかの話し合いから活動に取り入れております。	子ども達が止まった時に、何をするんだったか、関わりで思い出す、自分で思い出せる職員の関わり、声掛けに努めます。自己選択に繋がるためのイメージが持てるよう、事前説明から気を付けて取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	子どもの意向、支援、多角的にも理解し伝えられる者が参加致します。	どの職員でも参加していける、同じポイントをしっかり伝えられるよう努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	関係機関との連携がとれる体制となっております。	適時関係機関との連携を行っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	行っております。	主に送迎時に情報共有を常に行っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	行っております。	必要に応じ積極的に行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	行っております。	必要に応じ積極的に行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	必要に応じて行っております。	適宜関係機関との連携を行っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	外出活動などで機会を設けております。	地域のお祭りやイベントに積極的に参加しておりますが、参加の幅をどんどん広げていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	積極的な参加を行っております。	事業所連絡会等参加し、支援に繋がる交流を求めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	小さなことから最近のことなどのお伝えを行っております。	必要に応じ支援中でも電話、送迎時、保護者様お迎え時など機会を通してお伝えしております。お伝えすることがタイムリーであるよう心掛けております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	モニタリングや日々のお話しできる機会などにお困りごとなどお話させていただいております。、	直接お伝え出来ない場合は連絡帳を活用し、家庭との連絡を密にし情報共有に務めていきたい。スピーディーにご連絡することに更に注力してまいります。
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	ご契約時に重要事項説明書の読み合わせなど行いお話させていただいております。	ご契約時に分かりやすいご説明を心掛けてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	お子様ご本人の意向は個別支援計画の主として作成、保護者様とお話もさせて頂いております。	主な機会は個別支援計画作成の時期になりますが、必要に応じてお話する機会を更に増やしてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	モニタリング時ご同意をいただいております。	中間にて必要に応じ再度お話をいただく、見直しを行う機会増やしてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	行っております。	主に送迎時お会いした時やお電話を差し上げる、お電話をいただくなどして、都度お話をさせていただいております。

護者への説明責任等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の	保護者様が同時に集う機会を設けております。	保護者様もご一緒に参加される活動を設けております。頻度を増やせていければと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	苦情解決の体制を整備しております。	ご利用ご相談・苦情窓口担当者を事業所ごとにもうけております。速やかな対応と社内での報告、共有を行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	月毎にかわら版の発行、ホームページでの公開、活動の様子がブログにてご確認いただけます。	行事予定や日々の様子などがホームページでご覧いただけます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	十分に留意しております。	個人情報保護法、法令を遵守致します。個人情報に関する研修を受けております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	行っております。	必要に応じて相談支援員さんや関係機関のご協力を得て行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	必要に応じて行っております。	地域資源の活用、近隣との交流など地域に開かれた活動をおこなっております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	安全委員会を設置しております。	安全委員会にて各種マニュアルを設置しこれを共有し実施しております。これら研修や訓練を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	事業継続計画（BCP）を毎年作成しております。	BCPに伴いマニュアルの理解、必要な訓練を行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	ご契約時やアセスメントを行う際に情報の共有をさせて頂いております。	ご契約時、重要事項説明書読み合わせにてお話させていただき、ご同意をいただいております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	アセスメント時お話をいただいております。	ご契約時、重要事項説明書読み合わせにてお話させていただき、ご同意をいただいております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	安全委員会を設置しております。	安全委員会にて各種マニュアルを設置しこれを共有し実施しております。これら研修や訓練を行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	ご契約時に重要事項説明書の読み合わせなど行いお話させていただいております。	安全委員会、BCPなど委員会のお話をもっとお話させていただきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	行っております。	インシデントがたくさん出て、アクシデントが減るよう共通理解をしております。インシデントから改善見直しを行います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	虐待防止委員会を設置しております。虐待防止のための研修も社を挙げて積極的に取り組んでおります。	虐待防止委員会を活発に運営させ、必要な研修も委員会を通して受けております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	原則身体拘束は行いませんが、必要時は同意を得て法令を遵守しこれを行います。	身体拘束についての研修受け、実施時には何が必要かの準備等はできておりますが、原則身体拘束は行わない方向となっております。